

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文字と音を結び付け、単語の名前を書くこと。 自分の考えや思いを他者に伝えること。 適切な声の大きさとスピードで音読をすること。 物語を読み、話の内容や登場人物を理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な単語について、平仮名が書かれたマグネットを並び変える活動を取り入れる。その後、なぞり書き、視写、見本なしとスモールステップで取り組ませる。 自分の考えや思いをカードに示し、それを選択させ、他者に伝える活動を行う。 音読カードで音読のポイントを示す。また、他者から評価してもらえるよう授業で音読を発表する時間を設ける。また、家庭学習等で音読に取り組ませる。 物語の登場人物になりきって動作化させながら、話の内容の大体を理解させる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身近な人々、社会、自然に興味をもち、関わろうとすること。 活動に見通しをもち、主体的に行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 植物の栽培や動物の飼育、町探検など、実際に見たり触れたりできる体験的な活動を日常的に充分に設ける。また、教師が身近な人々やもの、動植物の良さを伝え、興味・関心を高める。 活動内容を視覚的教材を用いながら繰り返し説明し、見通しをもたせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 10までの数字と数量を一致させること。 なんじ・なんじはんを理解し、時計を読むことができる。 足し算、引き算の仕方を理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物や ICT 教材、歌を用い、視覚や聴覚、触覚で数字と数量を一致させる活動を繰り返し行う。 日常と結び付けながら、時計を読む機会を充分に設ける。また、ゲーム形式で問題を解かせ、意欲を高める。 ボーリングゲームや魚つりなどのゲームを用い、足し算・引き算の概念を習得させる。その後、具体物を用いながら繰り返し計算問題に取り組ませる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ルールを理解して活動すること。 友達と協力すること。 運動の仕方を習得し、体力をつけること。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を、事前に絵を用いて説明したり、支援教室で練習させたりする。 友達と協力できる場면을教員が意図的に設定する。 スモールステップで課題を設定し、体を動かす楽しさを実感させる。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを表現すること。 登場人物や他者の気持ちを理解すること。 学習したことを日常に応用していくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○×札やにこにこカードを用いて、自分の気持ちを表現させる。 人形劇やペープサートを用いて話の内容を理解させる。また、登場人物になりきり、動作化させることで登場人物の気持ちを想像しやすくする。 道徳で行った内容を教室内に掲示し、日常生活で振り返らせる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声で楽しく歌を歌うこと。 楽器の演奏の仕方を知り、友達と協力して音楽を楽しむこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員と一緒に歌い、自信をつけさせる。 グループ活動を充実させ、児童同士での教え合いを促す。 鍵盤やバチの持つ箇所にシールを貼るなどの支援を行う。
図工	<ul style="list-style-type: none"> イメージをもち、見通しを立てながら作品づくりをすること。 道具を適切に扱い、準備や片付けを行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に見本を作成し、それを見せることで完成のイメージを持たせる。また、児童に質問をし、話し合いながら作りたいもののアイデアを引き出していく。 道具の使い方や置き方、準備や片付けの方法を写真や絵で見せながら活動を行う。
学級経営	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級において、友達とたくさん関わり、協力すること。 時間を守って行動すること。 何事にも興味をもって行動し、楽しんで活動すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と適切な関わり方ができるよう教員が見守り、適宜声をかける等の支援を行い、交流の場を設定する。 一日の流れや授業の開始時刻・終了時刻を視覚化して見通しをもたせる。 掲示物や教材に仕掛けを施したり遊び感覚でできるような工夫をしたりして、児童が楽しんで学習できるようにする。



	成果○ と 課題▼
国語	<p>○児童の実態に合わせた学習内容を設定し、繰り返し課題に取り組ませることで、単語を読んで絵とマッチングさせたり、簡単な単語や漢字を書いたりすることができるようになってきた。</p> <p>○物語や説明文の序盤に、挿絵の並び替えを必ず行うことで、話の順序をつかめるようになった。</p> <p>▼叙述から読み取ることが難しい児童がいるため、何度も音読に取り組ませたり、読み物を短くしたりする工夫が必要である。</p>
生活	<p>○児童が、町たんけんや図書館見学などの学習に見通しをもって落ち着いて参加することができた。</p> <p>○支援級でザリガニを飼育することにより、生き物を大切にすることを育むことができた。</p> <p>▼落ち着いて学習に参加することはできたが、学習のめあてや活動の意味を理解することが難しい児童がいるため、今後、事前に支援教室で視覚支援を用いて説明し、児童が活動の意義を見出せるようにしていく。</p>
算数	<p>○あらゆる教材・教具を用いることで、10までの数の概念が定着してきた。</p> <p>○時刻を合わせるゲームを繰り返し行ったことで、時刻（なんじ）を正確に読むことができるようになってきた。</p> <p>▼10より大きい数の概念に戸惑う姿が見られた。具体物を操作しながら繰り返し指導する必要がある。</p>
体育	<p>○ボールゲームでは、簡易化したルールを用意し、個別に学習目標を立てることで、友達からパスをもらってシュートし、得点を決める姿が見られた。</p> <p>▼短縄などの用具を使った運動に苦手意識をもつ児童がいたため、OTと連携しながら様々な手立てを行いスモールステップで練習できるようにしていく。</p>
道徳	<p>○NHK for school「でーきた」を見ながら、要所でまるばつ札を用い、児童が考えを表現することができた。</p> <p>▼「うれしい」「かなしい」などの感情を言葉で表現することはできてきているが、感情のレパトリーが少ない。様々なシチュエーションの中であらゆる感情を体験させ、言葉でも表現できるようにしていく。</p>
音楽	<p>○教員と一緒に歌うことで、みんなで楽しく歌を歌う姿が見られた。</p> <p>○鍵盤や楽譜に色シールを貼ることで、一人で鍵盤ハーモニカを弾けることができた。</p> <p>▼正しくリズムを打つことに困惑している児童も見られたため、視覚的教材を用いながら繰り返し練習できるようにしていく。</p>
図工	<p>○教員と対話しながら、作りたいものを自分で決め、自分らしく作品を作ることができていた。</p> <p>○はさみやのりを日常的に使うことで、丁寧に使用することができた。</p> <p>▼抽象的なイメージをもつことが難しい様子が見られたので、タブレットで画像を検索し、イメージを膨らませながら学習に取り組むようにしていく。</p>
学級経営	<p>○生活面や学習面において、交流級の友達が支援級の児童に積極的に声をかけたり、助けたりする姿が見られ、一年を通して温かい雰囲気の中、安心して仲良く過ごすことができた。</p> <p>▼できるようになったことの定着を図り、さらに習慣化していくために、今後も支援を継続していく必要がある。</p>